

教員養成における教育の質の向上に係る取組

徳島文理大学
徳島文理大学短期大学部

1 教職課程に関する組織的工夫

(1) 教員と事務職員との協働体制の構築、役割分担の工夫

各学部・学科における教職課程では、教職課程認定基準を踏まえた専任教員を配置し、教員と事務職員との協働体制を構築している。また、本学では教職課程の運営に関する全学的な組織として、教職課程委員会を設置している。教職課程委員会の目的は、教員養成に対する理念を十分反映させた教育課程の編成及び教職指導体制を確立し、資質能力に優れた教員を養成すると共に、現職教員の研修等を通じて地域社会に貢献することであり、次のことを検討し推進することとしている。

- ① 教職課程に関する基本方針の立案
- ② 教職課程の充実、改善を図り、全学的運営を円滑にする
- ③ 履修指導全般についての点検・評価、充実
- ④ 教育実習、介護等体験の充実
- ⑤ 教職課程に関わる諸問題への対応策の検討

また、教職課程委員会の構成は次のようになっている。

- ① 人間生活学部児童学科から2名、心理学科から1名及び短期大学部保育科から2名を、教職に関する科目を担当する教員の中から、学科長と相談のうえ学部長が推薦した者
- ② 人間生活学部（児童及び心理学科以外）、音楽学部、総合政策学部、保健福祉学部、文学部、理工学部、短期大学部（保育科以外）からそれぞれ1名を、学部長が推薦した者
- ③ 企画部長、教務部長（徳島C、香川C）、教務課長（徳島C、香川C）
- ④ その他、委員長が本委員会の運営に必要と認める者

(2) 教職課程の質的向上のためのFD・SDの取組

本学では、「徳島文理大学の学教育開発機構設置要綱」及び「徳島文理大学FD研究部会内規」を定め、「FD研究部会」を設置し、教育及び授業の改善、教員の研修等、教員の資質・能力向上をめざし、教育の質の向上を図るためにFD活動を推進及び支援している。主な活動は、①授業改善や学生理解のためのFD研修会・講演会の学内開催と学外研修会への派遣、②授業に対する学生の授業アンケート及びアンケート結果に対する教員からのフィードバック、③全学部で実施する研究授業と意見交換会、④卒業予定者を対象とした大学生生活満足度アンケートである。

研究授業については、「教員相互による授業参観」や授業技術向上のための目標・実施期間を設定した「目標設定型」を設けており、研究授業後における意見交換会での討議等をおして授業改善を図っている。教授方法は、アクティブ・ラーニング等、授業内容・方法に工夫をしている。

FD研修会・講演会については、全教員を対象とした全学FD研修会を授業方法や授業内容の改善に関する内容で毎年実施している。また、授業アンケートについては、教員には授業に対する改善点の発見を、学生には授業への取組みを向上させる契機になることを求めている。そのため、学生のアンケート結果に対するコメントを教員はWeb上で入力し、学生にはアンケート結果と併せて教員コメントをWeb上で閲覧できるようにしている。また、卒業予定者対象・大学生生活満足度アンケートについてはWeb上で実施し、学生からの本学の教育に対する評価を受け、教育の充実と改善に資する資料を得ることができている。

本学では、「徳島文理大学 SD 推進委員会設置要項（平成 29(2017)年 4 月 1 日施行）」に基づいて SD 推進委員会を設置し、SD 活動推進に係る基本方針・実施計画を策定するとともに、職員の能力及び資質の向上に向けた諸施策の企画立案を行っている。また、「徳島文理大学 SD 実施に関する基本方針と計画（平成 29(2017)年 9 月策定）」を踏まえて、

①建学精神を理解し、学生の能力開発、資質向上を図り、社会的及び職業的自立を促すための SD 活動、②大学の発展を先導し、改革するための新しい知見と力量を形成するための SD 活動、③高等教育機関で勤務するものとして、それにふさわしい知識と態度を養うための SD 活動を実施するための年間計画を立てて、着実に実行している。

4 月の新任・昇任教職員研修会をはじめとして、8 月には防火・防災管理委員会及び自衛消防隊等合同研修、徳島キャンパスと香川キャンパスをオンラインで結んでのハラスメント防止委員・相談員合同研修会、11 月にはそれぞれのキャンパスでの防災訓練、1 月には全教職員を対象とした全学 SD 研修会、2 月には各キャンパスの実態に応じて人権・ハラスメント講演会を実施している。研修会には学長・理事長をはじめ、事務局長や各学部長、事務部局の長など大学運営に関わる幹部職員も全員が参加し、教職協働で危機管理能力や人権意識など教職員の資質・能力の向上やハラスメント防止に計画的に取り組んでいる。

また、本学は、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(SPOD)に加盟しており、SPOD 内講師派遣プログラムを活用して「職員のための企画力養成講座」を実施するとともに、職員が経験年数や職階に応じた資質・能力を身に付けられるよう、職員を職能別研修に派遣している。このような SD 活動の成果として、教職員の中に問題意識を持ち、教職協働で課題に取り組むことのできるリーダーとなる人材も育ちつつある。

(3) 教員養成の状況についての情報公表

教育職員免許法施行規則第22条の6に定められた内容については、キャンパスガイドの「教員免許のとりかた」に掲載し、公表している。また、本学の公式Webページには、「教員養成サポート」のページが設けられており、公立学校教諭正規合格者数、公立学校教諭採用者数、本学において取得可能な教員免許状の種類、「全学共通教育センター」による教員養成支援、都道府県等自治体ごとの出願傾向に応じた対策、教員・幼保採用試験対策セミナー等での情報提供などについて、情報公開している。また、入試広報部で発行している広報誌「かなえるチカラ」2月号（毎年発行）には公務員等の内定者数、一般企業内定状況とともに公立教員合格数も掲載されており、徳島県、香川県をはじめ、全国の高等学校に配付されている。児童学科では、児童学科だより（毎月1回発行）に公表し、徳島県内の高校に配布している。また、オープンキャンパスの学科説明の際に、最新情報を公表・説明している。

(4) 教職課程教育を行う上での施設・設備の整備

施設・設備については各号館のラウンジと各教室に Wi-Fi を設置し、ノート PC、タブレット、スマートフォン等にも対応している。また、学生、教員用のファイルサーバを設置し、学生は学内どこからでもファイルを読み書きできるようになっている。また、遠隔授業にも対応しており、教室で受講する者、自宅等で受講する者など、ハイブリッド授業が可能となっている。

教員はバーチャルスタジオ等のメディア教育設備や各号館に整備されている学生用コンピュータ室をはじめ、全ての普通教室に整備されたプロジェクター、モニター、電子黒板等を活用し、アクティブラーニング等の効果的な授業を行っている。

2 教職へのキャリア支援

(1) 学生の教職に就こうとする意欲や適性の把握

全学部・学科で担任・チューター制度を採用し、新入生一人ひとりに各学部・学科のチューターあるいは担任が付き、Web化した「学習ポートフォリオ」をもとに面談を行い、教員とのきめ細かな連携を構築しながら、大学生活をサポートしている。

教職課程においても、各学科の担任・チューターが日頃の面談や授業などの教育活動をとおして、学生の教職に就こうとする意欲や適性を把握しており、学内システムの面談記録などをとおして、学内の関係教職員間で情報共有を図っている。

(2) 教職に係る各種情報の提供

「全学共通教育センター」では前年までに各学生から提出された各都道府県の教員採用審査の報告書から、筆記試験や面接審査の内容や傾向に関して、情報を各都道府県ごとにまとめて、「教員採用審査パーフェクトガイド」希望する学生・教員に配付したり、トピック的な情報については、センター内の掲示板に掲示するなど、各種情報を適切に提供している。

(3) 学生のニーズや適性の把握に基づいた適切なキャリア支援

「全学共通教育センター」は、大学での高度な専門知識を学ぶ上で欠かせない基礎学力を全学部共通で向上させることを目的に運営している。高等学校での学習を基にして、大学での学修を確実にするための基礎学力のさらなる充実をめざし、少人数指導の講座や個別指導による学習支援を行っている。学生が自ら課題を見つけて解決できる「自己教育力」を身につけることができるように、また、専門教育で学修が円滑に行われるようサポートをしており、特に教員や保育士を目指す学生に対しては、就職支援部と連携を図りながら、次の取組・支援を行っている。

① 教員採用対策講座講座

教員採用試験を目指す3・4年生を対象に採用試験対策として「教員採用対策講座講座」を、年間を通じて、「スタート講座」「ダッシュ講座」、「直前講座」に分け、面接指導も含め様々なテーマに基づき実施している。また、学生からの相談にも随時対応している。

② 模擬試験

教員・保育士をめざす学生に対して「模擬試験」を実施し、学生が自分の実力を把握し、弱点を補強して本番の試験に臨めるよう支援しています。

③ 各学科における教員採用対策講座、個別指導

(4) 卒業生や地域の多様な人材等との連携

① 教員・幼保採用試験対策セミナー

まず、10月下旬に「スタート編Ⅰ」として、3年生・4年生の学生を対象に、業者の教員採用審査に関するオンライン講座を開催し、各都道府県、特に四国四県の近々の採用審査に関する変更点、最新情報や受験の心構えや対策についての認識を深めている。11月下旬には「スタート編Ⅱ」として教員3年目になる卒業生（小学校1、養護教諭1、保育士1）をパネラーとして、パネルディスカッションを開催しており、「教員・保育士のやりがいと魅力や教育現場の最新情報」について実際の話聞くことができ、採用試験に向けて、モチベーションを高めている。

② 各種講演会の実施や研究会への参加

年に数回、外部講師を招いて、教員や保育士をめざす学生のためにどのように対策を進めたいか、講演会を行っている。また、県内の幼稚園、小学校の研究発表会にも参加し、実践力を高めるよう指導している。

その他、春季休業中の「教員・幼保レベルアップ講座」、採用試験直前には、面接・模擬授業・場面指導対策など、学生のニーズに合わせた支援をしている。

3 実践的指導力育成と地域との連携

(1) 実践的指導力育成に係る機会の設定

本学の教職課程においては、学校現場の全体計画や年間指導計画を踏まえ、児童等の育てたい資質・能力の育成に向け、主体的・対話的で深い学びにつながるよう学習方法（思考ツールの活用等）や学習形態（ペア・グループ等）を工夫し、カリキュラム・マネジメントの在り方を探る授業を行っている。また、「各教科教育法」「特別活動及び総合的な学習の時間の指導法」などにおいては学校現場の実践例から、実践的指導力の育成につながる授業を展開している。また、「児童英語活動指導法」では、小学校における英語の「教科化」を踏まえて、小学校英語活動や小学校英語の授業を担当するために必要な背景知識について理解をさらに深めるとともに、模擬授業を経験して行く中で、様々な授業の手法を共有できるようにしている。「教育の方法及び技術（情報通信技術の活用含む）」では児童生徒が適切な学習を展開するための教育方法と技術を身につけ、情報メディアを活用する能力も育成している。

(2) 体験活動、教育実践に係る機会の設定

<介護等体験>

本学では心身に不自由のある人々との「触れ合い」を中心とする「介護等体験」を社会福祉施設で5日間、特別支援学校で2日間実施している。「介護等体験」は学生が将来教員として必要となる個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めるために実施している。

<徳島市 学習支援ボランティア>

徳島市では、2005年から「学習支援ボランティア」の派遣活動を実施しており、本学の学生も毎年20名前後が登録し、活動している。「学習支援ボランティア活動」は通常学級において支援を必要とする児童・生徒の学習をサポートしたり、休み時間等のかかわりや支援を行ったものである。週1日、4時間程度、徳島市内の小・中学校に徳島県内4つの大学・大学院から教員志望の学生が派遣され、学級担任等による指導の補助にあたっている。

(3) 教育委員会等との組織的な連携協力体制の構築

<徳島県内の大学と徳島県教育委員会との連携に関する連絡協議会>

徳島県内の大学と徳島県教育委員会は平成15年より「徳島県内の大学と徳島県教育委員会との連携に関する協定」を結んでおり、連絡協議会の専門部会の一つである「教員養成・研修部会」では「大学生のための教職ガイダンス」「教員の資質向上連絡協議会」「教育実践に関する共同研究」に取り組んでいる。

「大学生のための教職ガイダンス」は、教員を志す学生を対象に、現職教員や指導主事等による実践的な話を通して、教員としての職業の魅力等について理解を深めるための研修会で、毎年3月中旬に徳島県立総合教育センターで開催されており、昨年までオンラインの開催ではあったが、例年本学から約80名が参加している。

「教員の資質向上連絡協議会」については、テレビ会議で教員の養成・採用・免許状更新講習

及び教育実習の実施に係わる諸問題について、大学、教育委員会、学校等の関係者が協議を行い、相互の連携、協力をより密接なものとし、教員の資質・能力の向上を図ることを目的としている。特に教育実習については、公立学校（幼・小・中・高・特）を対象に実態調査を行い、その教育実習実施状況を協議資料とし、大学と公立学校とが意見交換を図り、教育実習の改善につなげている。

<教育実習連絡協議会>

当該年度の教育実習終了後（11月下旬）、教育実習生がお世話になった幼稚園、小学校、中学校の園長、校長等に参加していただき、「教育実習連絡協議会」を実施し、本学の教育実習に関してご意見を伺い、今後の教育実習の充実につなげている。

<徳島文理小学校>

徳島文理小学校では、月曜日から金曜日の午後4時30分から午後6時30分まで、1年生から4年生を対象に「放課後預かり教室」を行っている。常時50名前後が参加しており、本学の教員志望の学生が「預かり指導員」として、サポートに入っている。「放課後預かり教室」では、放課後は課題学習・読書等を行っており、夏季休業中など長期休業日には、知育ゲームや体育遊び等も行っている。

さらに、令和5年度から「学習支援員制度」が新設された。主に本学の小学校教員を志望している学生が、授業に入り、全体指導の補助、特性に応じた児童への学習支援、採点の補助などを行っている。さらに休み時間や給食時、学校行事においても支援を行っている。令和5年度は4年生を中心に10名の学生が活動している。

<徳島文理大学附属幼稚園>

徳島文理大学附属幼稚園では、月曜日から金曜日の午後3時から午後6時30分まで「預かり保育」を行っている。本学の幼稚園教諭・保育士志望の学生が「預かり指導員」としてサポートに入っている。